

高祖遺文錄卷之二十六

目錄

田氏妻書

初頁

弘安元戊寅九月廿四日
大士五十七歲
錄內三十四

撰著 年齡 原書 眞蹟

與堀內某書

二頁

弘安元戊寅十月四日
錄外二十五

報四條氏書

二頁

弘安元戊寅十月
錄內十七

與南條氏書

五頁

弘安元戊寅閏十月三日
錄外八

報千日尼書

六頁

弘安元戊寅閏十月十九日
錄內十九

報四條氏書

八頁

弘安元戊寅閏十月廿三日
錄外二

與南條九郎太郎書

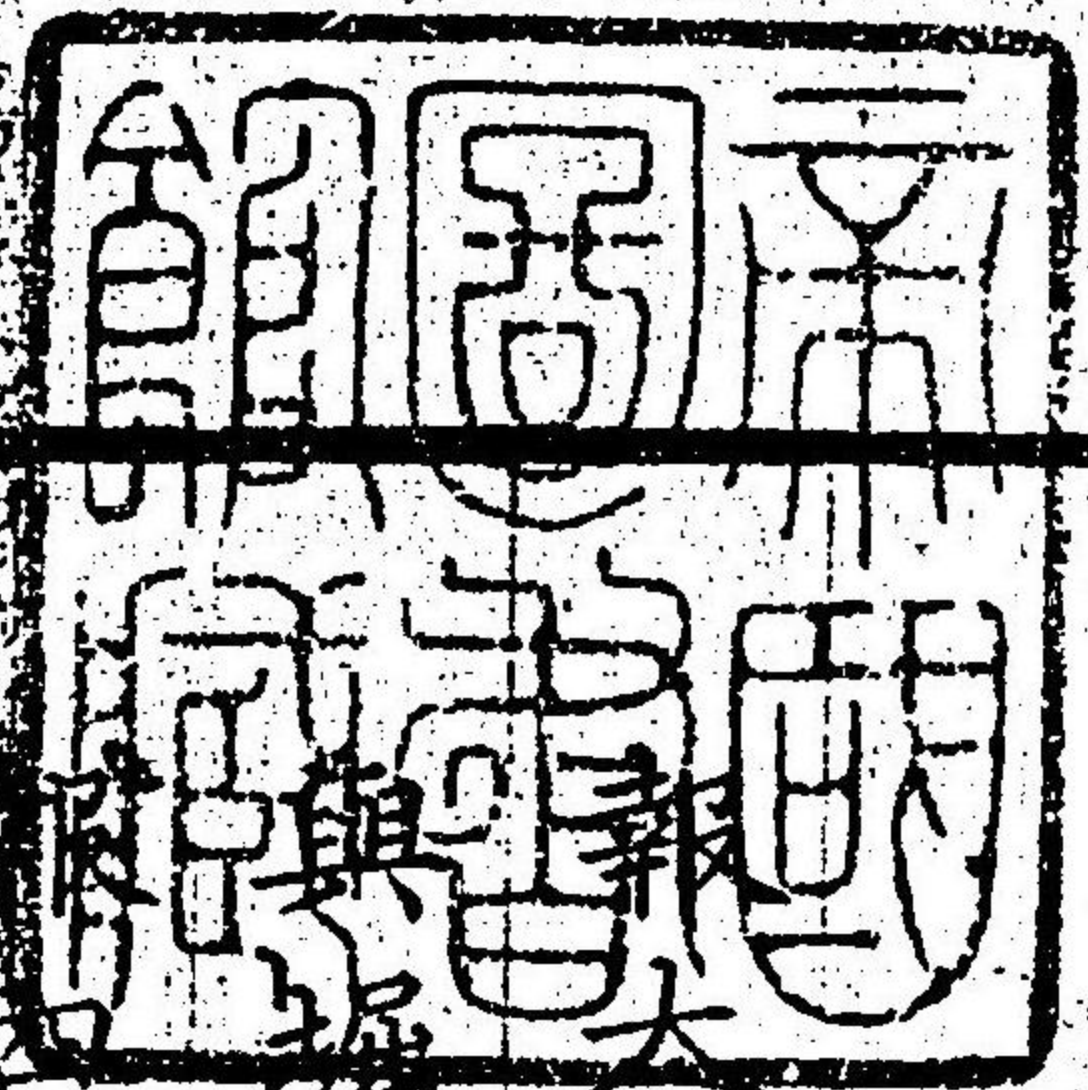
十一頁

弘安元戊寅十一月一日
錄外九

與兵衛志書

十三頁

弘安元戊寅十一月廿九日
錄外十四



與南條氏書	上野書	十五員	弘安二己卯正月三日	大十五六歲	錄外八紙	
與富木氏妻書	可延定業書	十六員	弘安二己卯二月三日		錄外十四紙	下總國
與兵衛志書	孝子書	十九員	弘安二己卯二月廿一日		錄外五紙	正中山
與四條氏妻書	日取女書	二十員	弘安二己卯二月		錄內二十八紙	
報松野氏母書		二十三員	弘安二己卯三月廿六日		錄內三十四紙	
與南條治部房書		二十八員	弘安二己卯四月二十日		錄外五紙	京都
與新池左衛門書		三十三員	弘安二己卯五月二日		錄內三十六紙	
與持妙尼書	窪尼書	三十九員	弘安二己卯五月四日		錄外二紙	
報大內氏書	寶經法重書	四十一員	弘安二己卯五月十日		錄內二十七紙	
與富木氏書	四菩薩造立	四十三員	弘安二己卯五月十七日		錄外十五紙	

與松野氏妻書		四十六員	弘安二己卯六月廿日		錄外九紙	
與南條氏書	上野書	四十八員	弘安二己卯八月八日		錄內三十五紙	

高祖遺文錄卷之二十六

尾張	沙門	日明	纂輯
相模	秦堂	小川	孝榮
上毛	亥淵	藤懸	義德
	貲	刻	訂正

○大田殿女房御返事

錄內三十四卷初紙
啓蒙三十四卷四十九紙

八木一石 付十合者大旱カシノ代ヨニカ乾ハケル物ニ水ヲホ
 ドコシテハ。大龍王ト生テ。雨ヲフラシテ。人天ヲヤシナ
 フ。飢タル代ニ食ヲホドコセル人ハ。國王ト生テ其國ニ
 タカ也。過去ノ代ニ金色王ト申。大王マシマシキ。其國ヲ

波羅奈國ト申。十二年ガ間早魃^{ニ行}キテ。人民ウエ死ル
事オビタダシ。宅中ニハ死人充滿シ。道路ニハ骸骨充滿
セリ。其時大王一切衆生ヲアハレミテ。多ノ藏^{クラ}ヲ開^イテ財
ヲ施シ給ヒテ。藏ノ中ノ財ツキテ。唯一日ノ供御ノミノ
コリテ候シニ。衆僧ヲアツメテ供養ヲナシ。王ト后ト僧
ト萬民ト。皆ウエ死ナントセシ程ニ。天ヨリ飲食雨ノゴ
トクフリテ。大國一時ニ富貴セリト。金色王經ニトカレ
テ候。此モ又カクノゴトシ。此供養ニヨテ現生ニハ福人
トナリ。後生ニハ靈山淨土ヘマイラセ給ベシ。恐恐謹言
九月二十四日
日蓮 花押

大田殿女房御返事

○十字御書

錄外二十五卷二十九紙

十字三十。法華經ノ御寶前ニ。積^ツミマイラセ候。又ス炭^炭ニ
ハ儀^儀イ給候。恐恐謹言

十月四日

日蓮 花押

ホ^編リ内殿御返事

○四條金吾殿御返事

錄内十七卷五十一紙
啟蒙二十七卷九十三紙

我^ガ目^目一貫給畢御所領上ヨリ。給ラセ給テ候ナル事。マコ

トトモ不覺候。夢カトアマリニ。不思議ニ覺テ候。返事ナ
シドモイカヤウニ申ベシトモ不覺候。其故ハトノ、御
身ハ。日蓮が法門ニヘニ。日本國竝ニカマクラ中御内ノ
一人公達マデウケズ。不思議ニオモハレテ候ヘバ。其御
内ニオハセンダニモ。不思議ニ候ニ。御恩ヲカウフラセ
給ヘバ。ウチカヘシ又ウチカヘシ。セサセ給ヘバ。イカバ
カリ同^{ドク}レ^隸イドモ。フシギト思ヒ。上モアマリトオボス
ラシ。サレバ此タビハ。イカンガ有ベカルラント。ウタガ
ヒ思ツル上。御内ノ數十人ノ人。訴ヘテ候ヘバ。サレバ
コソイカニモ。叶ヒガタカルベシ。アマリナル事也ト。歎

候ツル上。兄弟ニモステラレテオハスルニ。カ、ル御恩
面目申バカリナシ。給ル處ハトノオカ三倍トアツバシ
テ候上。サドノ國ノモノ、コレニ候ガ。ヨクヨク其處ヲ
知テ候ガ申候ハ。三箇郷ノ内ニイカダト申ハ第一ノ處
也。田圃ハスクナク候ヘドモ。トクハハカリナシト申候
也。二所ハ御年貢千貫。一所ハ三百貫ト云云カ、ル處也
ト承ハル。ナニトナクトモトウレ^同イト云ヒシタシキ人
人ト申ステ。ハテラレテ笑ヒ悦ビツルニ。トノオカニ劣
テ候處也トモ。御下フミハ給タク候ツルゾカシ。マシテ
三倍ノ處也ト候。イカニワロクトモワロキヨシ人ニモ

又上^カヘモ申サセ給ベカラズ候。ヨキトコロヨキトコロ
ト申給ハバ。又又カサチテ給ラセ給ベシ。ワロキ處徳分
ナシナンド候ハバ。天ニモ人ニモステラレ給ハンズル
ニテ候ヅ。御心エアルベシ。阿闍世王ハ賢人ナリシカド
モ。父ヲコロセシカバ。即時ニ天ニモステラレ。大地モヤ
ブレテ入ベカリシカドモ。殺サレシ父ノ王ノ。一日ニ五
百^リヤウ^輛五百^リヤウ。數年ノ間佛ヲ供養シ。マイラセタ
リシ功德ト。後ニ法華經ノ檀那トナルベキ功德ニヨリ
テ。天モステガタシ。地モワレズ。終ニ地獄ニ墮スシテ佛
ニテリ給キ。殿モ又カクノゴトシ。兄弟ニモ捨ラレ。同^レ

イニモアダマレ。今^キ達ニモソ^案バメラレ。日本國ノ人ニモ。
ニクマレ給ツレドモ。去^ス文永八年ノ九月十二日ノ。子丑
ノ時。日蓮御勸氣ヲ蒙リシ時。馬ノ口ニ取付テ。鎌倉ヲ出
テ相摸ノ依^ニ智^ナニ御供^トアリシガ。一闍浮提第一ノ法華經
ノ御^カ方^タウ^ドニテ有シカバ。梵天モ帝釋モステカ子サ
セ給ヘルカ。佛ニナラセ給ハン事モ。カクノゴトシ。イカ
ナル大^科アリトモ。法華經ヲ背カセ給ハズ候シ。御トモ
ノ御^ホウ^コウ^ニテ。佛ニナラセ給ベシ。例セバ有徳國王
ノ。覺徳比丘ノ命^チニカハリテ。釋迦佛トナラセ給ガゴト
シ。法華經ハイ^祈ノリトナリ候ケルゾ。ア^スナ^カ賢^シコ。ア^スナ^カ

シコ。イヨ。イヨ。道心堅固ニシテ。今度佛ニナリ給ヘ。御一
門ノ御房タチ。又俗人等ニモ。カ、ルウレシキ事候ハズ。
カ^斯ウ申セバ今生ノヨ^愁クトオボスカ。ソレモ凡夫ニテ候
ヘバ。サモ候ベキ止^ク欲ヲモハナレバシテ。佛ニナリ候ケ
ル道ノ候ケルゾ。普賢經ニ法華經ノ肝心ヲ説テ云。不斷
煩惱不離^レ五欲等云云。天台大師摩訶止觀云。煩惱即菩提
生死即涅槃等云云。龍樹菩薩ノ大論ニ。法華經ノ一代ニ
スグレテ。イ^秀ミ^逸ジキヤウヲ釋シ給テ云。譬如大藥師能變
毒為藥等云云。小藥師ハ以藥治病。大醫ハ大毒ヲモテ。大
重病ヲ治等云云。

弘安元戊寅年十月日

日蓮 花押

四條金吾殿御返事

○上野殿御返事

錄外八卷十紙

イエノイ^芋モ一駄^カ柑子^ジ一籠^カ錢六百代御座^サ筵^シ十枚給畢。去
年ハ大疫此國ニ起テ。人ノ死スル事。大風ニ木ノ倒レ。大
雪ニ艸ヲオルガ如シ。一人モ殘ルベシトモ。見エズ候キ。
然而^{シカ}又今年ハ堯舜ノ代ノ如ク。成劫ノ始カト云テ候シ
程ニ。八月九月ノ大雨大風ニ。日本國一同ニ不熟^コ行テ。殘
ル萬民冬ヲ過^スシガタシ。去^イ寬喜正嘉ニモ超エ來ラン。三

災ニモ劣ラザルカ。自界叛逆シ盜賊國ニ充滿シ。佗界キ
ソイテ合戰ニ心ヲツイヤス。民ノ心不孝ニシテ。父母ヲ
見ルコト佗人ノゴトク。僧尼ハ邪見ニシテ。狗ト猿トノ
アヘルガ如シ。慈悲ナケレバ天モ此國ヲ守ラズ。邪見ナ
レバ三寶ニモ捨ラレヌ。又疫病モ暫クヤミテ見エシカ
ドモ。鬼神還リ入ガ故ニ。北國モ東國モ西國モ南國モ。一
同ニヤ病ミナゲク由聞エツ。カ、ル世ニイカナル宿善ニ
カ。法華經ノ行者ヲヤシナハセ給フ事有難ク候畢。事事
見參ノ時。申ベク候恐恐謹言

弘安元年後十月十三日

日蓮 花押

上野殿御返事

○千日尼御前御返事

錄内十九卷六十一紙
啓蒙二十八卷九十五紙

青^{セイ}鳧^フ一貫文^{クワンモン}干飯^{カンパン}一斗。種種物給^{タテマツル}候畢。佛ニ土ノ餅^{コシ}ヲ供養
ゼシ。德勝童子ハ阿育大王ト生レタリ。佛ニ漿^{シラ}ヲマヒラ
セシ老女ハ辟支佛ト生タリ。法華經ハ十方三世ノ諸佛
ノ御師也。十方ノ佛ト申ハ。東方善德佛。東南方無憂德佛。
南方栴檀德佛。西南方寶施佛。西方無量明佛。西北方華德
佛。北方相德佛。東北方三乘行佛。上方廣衆德佛。下方明德
佛也。三世ノ佛ト申ハ。過去莊嚴劫ノ千佛。現在賢劫ノ千

佛。未來星宿劫ノ千佛。乃至華嚴經法華經涅槃經等ノ大
小權實顯密ノ諸經ニ列リ給ヘル。一切ノ諸佛盡十方世
界ノ微塵數ノ菩薩等モ皆悉ク法華經ノ妙ノ一字ヨリ
出生シ給ヘリ。故ニ法華經ノ結經。普賢經云佛三種身從
方等生等云云。方等者月氏ノ語漢土ニハ翻大乘。大乘ト
申ハ法華經ノ名也。阿含經ハ外道ノ小經ニ對スレバ大
乘經。華嚴般若大日經等ハ阿含經ニ對スレバ大乘經。法
華經ニ對スレバ小乘經也。法華經ニ勝タル經ナキ故ニ
一大乘經也。例セバ南閻浮提ハ萬四千ノ王王ハ其國國
ニテハ大王ト云。轉輪聖王ニ對スレバ小王ト申。乃至六

欲四禪ノ王王ハ渡大小色界ノ頂ノ大梵天王。獨リ大王
ニシテ。小ノ文字ヲ付事無カ如シ。佛ハ子也。法華經ハ父
母也。譬バ一ノ父母ニ千子有テ。一人ノ父母ヲ讚歎スレ
バ。千子悦ヲナス。一人ノ父母ヲ供養スレバ。千子ヲ供養
スルニ成ス。法華經ヲ供養スル人ハ。十方ノ佛菩薩ヲ供
養スル功德ト同キ也。十方ノ諸佛ハ妙ノ一字ヨリ。生シ
給ヘル故也。譬バ一ノ師子ニ百子アリ。彼百子諸ノ禽獸
ニ犯サルニ。一ノ師子王吼レハ。百子カラ得。諸ノ禽獸
皆頭七分ニワル。法華經ハ師子王ノ如シ。一切ノ獸ノ頂
トス。法華經ノ師子王ヲ持ツ女人ハ。一切ノ地獄餓鬼畜

生等ノ百獸ニ恐ル、事ナシ。譬バ女人ノ一生ノ間ノ御
罪ハ諸乾艸ノ如シ。法華經ノ妙ノ一字ハ小火ノ如シ。小
火衆艸ニツキスレバ。衆艸焼亡ルノミナラズ。大木大石
皆焼失ス。妙ノ一字ノ智火以テ如此。諸罪消ルノミナラ
ズ。衆罪還テ功德トナル。毒藥變ジテ甘露トナル是也。譬
バ黑漆ニ白物ヲ入レバ白色トナル。女人ノ御罪ハ漆ノ
如シ。南無妙法蓮華經ノ文字ハ白物ノ如シ。人ハ臨終ノ
時。地獄ニ墮ル者ハ黑色ナル上。其身重キ事千引ノ石ノ
如シ。善人ハ設ヒ七尺八尺ノ女人ナレドモ。色黑色ナレ
バ臨終ニ色變シテ白色トナル。又輕キ事鷲毛ノ如シ。軟

ナル事兜羅綿ノ如シ。佐渡ノ國ヨリ此國マデハ。山海ヲ
隔テ千里ニ及候ニ。女人ノ御身トシテ。法華經ヲ志マシ
マシ。依テ年年ニ夫ヲ御使トシテ御訪アリ。定テ法華經
釋迦多寶十方ノ諸佛。其御心ヲ知食スラン。譬バ天月ハ
四萬由旬ナレドモ。大地ノ池ニハ須臾ニ影浮ビ。雷門ノ
鼓ハ千萬里遠ケレドモ。打ハ須臾ニ聞ユ。御身ハ佐渡ノ
國ニオハセドモ。心ハ此國ニ來レリ。成佛道如此我等ハ
穢土ニ候ヘドモ。心ハ靈鷲山ニ住ベシ。御面ヲ見テハナ
ニカセン。心コソ大切ニ候ヘ。イツカイトツカ釋迦佛ノオ
ハシマス。靈山會上ニ參リアヒ候ハン。南無妙法蓮華經。

南無妙法蓮華經。恐恐謹言

弘安元年後十月十九日

日蓮 花押

千日尼御前御返事

○四條金吾殿御返事

錄外ニ卷初紙

今月十二日。信濃ヨリ贈ラレ候シ物ノ日記。錢三貫文。白米ノ俵一餅五十枚。酒太筒一小筒一。串柿五把。柘榴十。夫王ハ民ヲ食トシ。民ハ王ヲ食トス。衣ハ寒温ヲフセギ。食ハ身命ヲタスク。譬ハ油ノ火ヲ繼水ノ魚ヲ助ルガ如シ。鳥ハ人ノ害メン事ヲ。恐レテ木末ニ巢ク。然レドモ食

ノタメニ。地ニヲリテワナニカ、ル。魚ハ淵ノ底ニ住テ。淺キ事ヲ悲ミテ。穴ヲ水ノ底ニ掘テスメドモ。餌ニハサレテ釣ヲノム。飲食ト衣藥トニ。過タル人ノ寶ヤ候ベキ。而ルニ日蓮ハ佗人ニコトナル上。山林ノ栖就中。今年ハ疫癘飢渴ニ。春夏ハ過越シ。秋冬ハ又前ニモ過タリ。又身ニ當テ所勞。大事ニナリテ候ツルヲ。カタガタノ御藥ト申シ。小袖彼シナシナノ御治法ニ。ヤウヤウ驗候テ。今所勞平愈シ。本ヨリモイサギヨクナリテ候。彌勒菩薩ノ瑜伽論。龍樹菩薩ノ大論ヲ見候ヘバ。定業ノ者ハ藥變ジテ毒トナル。法華經ハ毒變シテ。藥トナルト見エテ候。日

蓮不肖ノ身ニ。法華經ヲ弘メントシ候ヘバ。天魔競ヒテ
食ヲウバハントスル歟ト。思テ不歎候ツルニ。今度ノ命
タスカリ候ヘ。偏ニ釋迦佛ノ貴邊ノ身ニ。入替ラセ給ヒ
テ御タスケ候歟。是ハサテヲキス。今度ノ御返リハ。神ヲ
失テ歎候ツルニ。事故ナク鎌倉ニ御歸候事。悦ヒイクソバ
クゾ。餘リノ覺オボツカ束ナサニ。鎌倉ヨリ來ル者ゴトニ問候ツ
レバ。或人ハ湯本ニテ行合セ給ト云。或人ハコ國府津フヅニト。
或人ハ鎌倉ニト。申候シニコソ心落居オチテ候ヘ。是ヨリ後
ハオボロゲナラズハ。御渡リアルベカラズ。大事ノ御事
候ハバ。御使ニテ承リ候ベシ。返返今度ノ道ハ。餘リニオ

ボツカナク候ツル也。敵ト申者ハ。ワ忘スレサセテ。子伺ヲフ
モノナリ。是ヨリ後ニ若ヤノ御旅ニハ。御馬オシマセ給
フベカラズ。ヨキ馬ニノラセ給ヘ。又供ノ者ドモ。セ證ニ
アヒヌベカラシモノ。又筒ウマ丸ロモチアゲヌベカラシ。
御馬ニノリ給ベシ。摩訶止觀第八云弘決第八云。必假ヨクナ心
固キ神守則強シ云。神護ルト申モ。人ノ心ツヨキニヨルト
ミエテ候。法華經ハヨキツ劍ルギナレドモ。ツカウ人ニヨ
リテ物ヲキリ候歟。サレバ末法ニ此經ヲヒロメン人。
舍利弗ト迦葉ト。觀音ト妙音ト。文殊ト藥主ト。此等程ノ
人ヤハ候ベキ。二乘ハ見思ヲ斷ジテ。六道ヲ出テ候。菩薩

ハ四十一品ノ無明ヲ斷ジテ。十四夜ノ月ノ如シ。然レド
モ此等ノ人人ニハ。ユヅリ給ハズシテ。地涌ノ菩薩ニ讓
リ給フハ。能能心ヲキ鍛。給ニヤ。李廣將軍ト申セシ
ツハモノハ。虎ニ母ヲ食レテ。虎ニ似タル石ヲ射シカバ。
其矢羽ブクラマデセメヌ。後ニ石ト見テハ立事ナシ。後
ニハ石虎將軍ト申キ。貴邊モ又カクノゴトク。敵ハ子ラ
フラメドモ。法華經ノ御信心強盛ナレバ。大難モカ子テ
消候歟。是ニツケテモ能能御信心アルベシ。委ク紙ニハ
盡シガタシ。恐恐謹言

弘安元年戊寅後十月二十二日 日蓮 花押

四條左衛門殿御返事

○九郎太郎殿御返事 錄外九卷二十六紙

イ茅モ一駄栗。クリヤ燒キゴメ。ハ生シカ妻給候ヌ。サテハ深山ニ
ハ。イモ作ル人ナシ。クリモ登ラズ。ハ生シカ生モオ生ヒズ。マ
シテヤキゴメ見候ハズ。タトヒクリ登ナリタリトモ。猿木
末登ヲカ枯ラス。家ノイモハ作ル人ナシ。タトヒ作りタリ共。
人憎ニクミテタ給ビ候ハズ。何ニシテカ。カ、ル高キ山へハ
來リ候ベキ。夫山ヲ見候へバ。高キヨリ次第ニ下タレリ。海
ヲ見候へハ。淺ヨリ次第ニ深シ。代ヲ見候へバ。三十年ニ

十年十年五年。四三二一次第ニヲトロヘタリ。人ノ心モ
カクノ如シ。此ハ代ノ末ニ成候ヘバ。山ニハ曲レル木ノ
ミ畱^ト野ニハヒ^ヒキ、^依艸ノミヲヒタリ。世ニハ賢^{カシ}キ人ス
クナク。ハ^愚カナキ者ハ多シ。牛馬ノ父ヲ知ズ。兔^{ウサギ}羊ノ母ヲ
辨ヘザルガ如シ。佛御入滅アリテ。二千二百二十餘年也。
代末ニ成テ智人次第ニ隱レテ。山ノクダレルガ如ク。艸
ノヒキ、ニ似タリ。念佛ヲ申シ戒ヲ持チ。チンドスル人
ハ多ケレドモ。法華經ヲタノム人スクナシ。星ハ多ケレ
ドモ。大海ヲテラサズ。艸ハ多ケレドモ。大内ノ柱トハナ
ラズ。念佛ハ多ケレドモ。佛ト成ル道ニハ非ズ。戒ハ持テ

ドモ。淨土ヘイル種トハ成ラズ。但南無妙法蓮華經ノ七
字ノミコソ。佛ニナル種ニハ候ヘ。此ヲ申セバ人ハソ子
ミテ用ヒザリシヲ。故上野殿信ジ給シニヨテ佛ニ成給
ヌ。各各ハ其末ニテ。此御志ヲトゲ給歟。龍馬ニ付ヌル。^タ
ニハ千里ヲトブ。松ニカ、レル^蘿ツタハ。千尋ヲヨヅト申
ハ是歟。各主ノ御心也。土ノ餅ヲ佛ニ供養セシ。人ハ王ト
成キ。法華經ハ佛ニマサラセ給法ナレバ。供養セサセ給
テ。爭カ今生ニモ利生ニアヅカリ。後生佛ニ成給ハザル
ベキ。其上身貧ニシテ下人ナシ。山河ヲ^類ヅラヒアリ。設志
アリトモ。顯シガタキニ。今色顯サセ給。知又法華經ノ十

羅刹守ラセ給ハンズラント。タノモシクコソ候ヘ事ツ
クシガタシ。恐恐謹言

弘安元年十一月一日

日蓮花押

九郎太郎殿御返事

追申是ニ付テモ故上野殿ノ事コソ思出候

○兵衛志殿御返事

録外十四卷四十六紙

錢六貫文。内一貫自白厚アツク繻小袖一領。四季ニワタリテ。財
ヲ三寶ニ供養シ給イ執ズレモイヅレモ。功德ニナラザル
ハナシ。但時ニ隨テ勝劣淺深ソカレテ候ウ飢タル人ニ

ハ衣ココロヲアタヘタルヨリモ。食ヲアタヘテ候ハイマスコ
シ功德マサル。コ凍コ凍ガヘタル人ニハ。食ヲアタヘテ候ヨリ
モ。衣キタハスマサル。春夏ニ小袖ヲアタヘテ候ヨリモ。秋冬
ニアタヘスレバ。又功德一倍ナリ。是ヲ以テ一切シリヌ
ベシ。但シ此事ニヲイテハ。四季ヲ論セズ。日月ヲ不断ズ。
ゼ錢ニ米カ帷タビ子キヌコ小ソ袖デ。日日月月ニヒマナシ。例
セバ頻ン婆ハシ婆ヲ羅王ノ。教主釋尊ニ日日ニ。五百輛ノ
車ヲヲクリ。阿育大王ノ十億ノ沙金ヲ。雞頭摩クイ寺ニ施セ
シガゴトシ。大小コトナレドモ。志ハ彼ニモスグレタリ。
其上今年ハ子細候フ冬フエト申フエ。イヅレノフエカサム

カラガル。ナツト申ナツ。イツレノナツカ。アツカラガル。
但シ今年餘國ハイカンガ候ラン。コノハキ井ハ。法ニス
ギテカ^寒ジ候。フルキラ^老キナドモニト^問ヒ候へバ。八十九
十一百ニナル者申候ハ。此ニスギテイ^古ニシヘ。コレホド
サムキ事候ハズ。此^アンジ^室チヨリ四方。山外十町二十町。
人^カ通ヨウ事候ハ子バ。シリ候ハス。キンペン一町ホドハ。
ユキニ丈ニ丈五尺等ナリ。此^ウ閏十月卅日。雪少シフリテ
候シガ。ヤガテキ^消エ候ヌ。コノ月ノ十一日^辰夕ノ時ヨリ。
十四日マデ大雪フリテ候シニ。兩三日ヘダテ、スコシ
雨フリテ。ユキカ^堅タクナル事。金剛ノゴトシ。イマニキユ

ル事ナシ。ヒルモヨルモ。サムクツメタク候事。法ニスギ
テ候。サ^酒ケハコ^凍ホリテ石ノゴトシ。油ハ金ニニタリ。ナ^銅べ
カ^釜マハ小^ス水^ミアレバ。コ^凍ホリテワレ。カ^寒ンイヨイヨ^カ重^ナリ候
へバ。キモノウスク。食トモシクシテ。サシイヅルモノモ
ナシ。坊ハハ^半ンサ^作クニテ。風雪タマラズ。シキモノハナシ。
木ハサシイヅルモノモナケレバ。火モタカズ。フルキ^古ア^始
カ^付ヅキ。ナンドシテ候コソデ。一^トナンドキ^着タルモノハ。其
身ノイロ紅^ゴ蓮^レ大紅^レ蓮^ノゴトシ。コ^聲エハハ^波ハ^々大^婆ハ^々地^獄
ニコトナラズ。手足^カ寒^シンジテキレサケ。人死コト限リナ
シ。俗ノヒ^鬚ゲヲミレバ。ヤ^環ウ^珞ラク^珞ラカケタリ。僧ノ鼻ヲミ

レバ。ス^鈴ズラツ^貫ラヌキカケテ候。カ、ル^フシギ候ハズ候
ニ。去年ノ十二月卅日ヨリ、ハラ^下ノケノ候シガ。春夏^休ヤム
コトナシ。ア^秋キスギテ十月ノコロ。木事ニナリテ候シガ。
スコシ平愈仕テ候ヘドモ。ヤ、モスレバ^發ラコリ候ニ。兄
弟二人ノフ^ニタツノ小袖^綿ワタ四十兩ヲキテ候ガ。ナツノ
カタビ^子ラノ。ヤウニカロク候ヅ。マシテワタウスク。タ^唯バ
ス^布ノモ^物ノバカリノ者。オ^思モヒヤラセ給ヘ。此^フ二ノ小袖ナ
クバ。今年ハコ^凍バヘシ^死ニ候ナン。其上^上兄弟ト申。右近尉ノ
事ト申。食モア^相イツ^竭キテ候。人ハナキ時ハ四十人アル時
ハ六十人。イカニセ^塞キ候ヘドモ。コレニアル人ノア^兄ニ

トテ出^シ來^シ。舍^シ弟^トテサシイ^入ラレ^キ并^居候ヌレバ。カシマ
シサニイカニモ申ス。心ニハシ^靜ヅカニ。ア^菴ン^室ジ^室チムスビ
テ。小^小法師ト我^我身^身計^計御^御經^經ヨミマイラセントコソ存テ候
ニ。カ、ル^煩ワヅ^煩ラハシキ事候ハズ。又年^明ア^明ケ候ハバ。イツ
クヘモニゲント存候ガ。又又申ベク候。ナニヨリモエ^衛モ^門
ンノ木^木末^末志^志殿ノ御^御事^事。ナ^又、ノ御^御中^中ト申^上ノオ^オボエト申。
面^面ニア^アラズハ申^申ツクシガ^タシ^謹言^言

弘安元年戊寅十一月廿九日 日蓮 花押

兵衛志殿御返事

泰堂云原書ニ以異本校合之畢トアリ今寛文版ニ從フ

○上野殿御返事

録外八卷初紙

餅九十枚。暮積五十本。ワガト御使者ヲ以テ。正月三日未
 ツジノ時ニ。駿河國富士郡上野郷ヨリ。甲州波木井ノ郷。
 身延山ノホ洞ラヘ。送リタ給ビテ候。夫海邊ニハ木ヲ財トシ。
 山中ニハ鹽ヲタカラトス。旱カ威ニハ水ヲ財トシ。闇中ニ
 ハ燈ヲ財トシ。女人ハ男ヲ財トシ。男ハ女人ヲ命トシ。王
 ハ民ヲ親トシ。民ハ食ヲ天トス。此三箇年ハ日本國ノ内
 ニ。大疫起テ人半分減ジテ候歟。去年七月ヨリ大ナル飢
 カ渴チニテ。里市遠キ無縁ノ者ト。山中ノ僧等ハ。命存ジガ

タシ。其上日蓮ハ法華經誹謗ノ國ニ生レテ。威音王佛ノ
 末法ノ。不輕菩薩ノ如シ。將又歡喜増益佛末ノ。覺徳比丘
 ノ如ク。王モニクミ民モアダム。衣薄ク食乏シ。布衣ハニ
 シキノ如ク。艸葉ハ甘露ト思フ。其上去年十一月ヨリ雪
 ツモリ。山里路絶テ年返レドモ。鳥ノ聲ナラデハ。ヲ音ト信
 ル。人ナシ。友ニアラズハ誰カ問ベキ。心ホソクテ過キ
 候處ニ。元三ノ内。十字九十。満月ノ如シ。心中明カニ。生死
 ノヤミモ晴ヌベシ。ア天ハ晴ナリ。ア天ハ晴ナリ。故上野殿コ
 ソ。ア天ハ晴色男ト人申セシニ。其御子ナレバ。ク紅レナ井ノ
 コ濃キヨシ傳給ヘル歟。藍ヨリア青ク水ヨリモツ冷メタキ

氷カナンド。アリガタシアリガタシ

弘安二年正月三日

日蓮 花押

上野殿御返事

○依法華經可延定業

錄外十四卷三十八紙

夫病ニアリ。一者輕病。二者重病。重病スラ善醫ニ值テ急ニ對治スレバ。命猶存ス。何況輕病ヲヤ。業ニニアリ。一定業ニ不定業。定業スラ能懺悔スレバ。必消滅ス。何況不定業ヲヤ。法華經第七云。此經則爲閻浮提人病之良藥等云。此經文ハ法華經文也。一代ノ聖教ハ。皆如來ノ金言。無

量劫ヨリ已來。不妄語ノ言也。就中此法華經ハ佛ノ正直捨方便ト申テ。眞實カ中ノ眞實ナリ。多寶證明ヲ加諸佛舌相ヲ添給。イカデカ。ムナシカルベキ。其上最第一ノ秘事ハンベリ。此經文ハ後五百歲。二千五百餘年ノ時。女人ノ病アラント。ト説カレテ候文也。阿闍世王ハ御年五十。二月十五日ニ。大惡瘡身ニ出來セリ。大醫者婆ガカモ及バ。三月七日必死テ。無間大城ニ墮ベカリキ。五十餘年ガ間。大樂。一時ニ滅シテ。一生ノ大苦三七日ニ。アツマレリ。定業限リアリシカドモ。佛法華經ヲカサ子テ演説シテ。涅槃經トナヅケテ大王ニアタヘ給シカバ。身ノ病忽ニ平

愈心ノ重罪モ一時ニ露ト消ニキ。佛滅後一千五百餘年。
陳臣ト申人アリキ。命知命ニアリト申テ。五十年ニ定テ
候シガ。天台大師ニ値テ。十五年ノ命ヲ宣テ。六十五マテ
ヲハシキ。其上不輕菩薩更増壽命ト説レテ。法華經ヲ行
ジテ。定業ヲノベ給キ。彼等皆男子也。女人ニハアラザレ
ドモ。法華經ヲ行ジテ。命ヲノブ。又陳臣ハ後五百歳ニモ。
アタラズ。冬ノ稻米。夏菊花ノゴトシ。當時ノ女人ノ。法華
經ヲ行ジテ。定業ヲ轉コトハ。秋ノ稻米。冬ノ菊花。誰カラ
ドロクベキ。サレバ日蓮悲母ヲイ祈ノリテ候シハ。現身ニ
病ヲイ治ヤスノミナラズ。四箇年ノ壽命ヲノベタリ。今女

人ノ御身トシテ。病ヲ身ニ受サセ給。心ニ法華經ノ信
心ヲ立テ御ランアルベシ。シカモ善醫アリ。中務三郎左
衛門尉殿ハ。法華經ノ行者ナリ。命ト申物ハ一身第一ノ
珍寶也。一日ナリトモ。コレヲノブルナラバ。千萬兩ノ金
ニモスギタリ。法華經ノ一代ノ聖教ニ。超過シテイミ
キト申ハ。壽量品ノユヘグカシ。閻浮第一ノ太子ナレド
モ。短命ナレバ州ヨリモカロシ。日輪ノ如クナル智者ナ
レドモ。夭死アレバ生犬ニ劣。早ク御心ガシノ財。カサ子
テ。イツギイツギ御對治アルベシ。是ヨリモ申ベケレド
モ。人申ニヨテ吉事モアリ。又我志ノ薄キカト。ヲモウ者

モアリ。人ノ心シ知リが難タキ上ウハ先イ先ニ少少カ、ル事候。此
 人ハ人ノ申セバ。少シ心エズゲニ思人ナリ。ナカ中ナカ申
 ハアシカリヌベシ。但ナ中カウ人ドモナク。ヒ平ラナサケニ。又
 心モナクウ打チ侍タノマセ給。去年ノ十月コレニ來テ候シ
 が。御所勞ノ事ヲ。ヨニヨニナ歎ゲキ申セシナリ。當事大事
 ノナケレバ。ヲドロカセ給ヌニヤ。明年正月二月ノコ比ロ
 ヲヒハ。必ヲユルベシト申セシカバ。コレニモナゲキ入
 テ候。富木殿モ此尼御前ヲコソ。杖ツヅ柱ハシラトモ侍タタルニ。ナン
 ド申テ候シナリ。隨分ニワビ候シゾ。キ極ワメテマ不負ケジ魂タ
 マシノ人ニテ。我カタノ事ヲバ大事ト申人ナリ。カヘス

ガヘス。身ノ財ヲダニオシマセ給ワバ。此病治ユガタカル
 ベシ。一日ノ命ハ三千界ノ。財ニモスギテ候ナリ。先御志
 ヲミ見ミヘサセ給ベシ。法華經ノ第七卷。三千大千世界ノ
 財ヲ。供養スルヨリモ。手一指ヲ燒テ佛法華經ニ。供養セ
 ヲトト説カレテ候ハコレナリ。命ハ三千ニモ過テ候。而シカ齡モ
 モイマダタケサセ給ハズ。而シカ法華經ニアワセ給ヌ。一日
 モイ活キテヲハセバ。功德ツ積モルベシ。アラ惜ラシノ命ヤ。ヲ
 シノ命ヤ。御姓名并御年ヲ。我トカ書セ給テ。ワガトツカ
 ワセ。大日月天ニ申アグベシ。イヨドノモア強ナガチニ。ナ歎
 ゲキ候ヘバ。日月天ニ自我偈ヲ。アテ候ハンヅルナリ恐

恐

尼ゴゼン御返事

日蓮 花押

○孝子御書

録外五卷二十八紙

御親父御逝去ノ由。風聞眞ニテヤ候ラン。貴邊ト大夫志
 ノ御事ハ。世入^ラ末法^ニ生^ラ邊土ニウケ。法華ノ大法ヲ御信
 用候ヘバ。惡鬼定テ國主ト。父母等ノ身ニ入カハリ。怨^{イダ}ヲ
 ナサシ事疑^ヒナカルベキ處ニ。案ニタガフ事ナク。親父ヨ
 リ度度ノ御^カ勤^ダ當^ウラセ給ヒシカドモ。兄弟トモ

ニ淨藏淨眼ノ後身歟。將又藥主藥上ノ御計ヒ歟ノ故ニ。
 ツ井ニ事ユヘナク。親父ノ御カンキヲユ^許ルサセ給テ前^{サキ}
 ニ^立タテマイラセシ。御孝養心ニ任サセ給ヒヌルハ。アニ
 孝子ニアラズヤ。定テ天ヨリモ悦^ヒラアタヘ。法華經十羅
 刹モ御納受アルベシ。其上貴邊ノ御事ハ。心ノ内ニ感ジ
 オモフ事候。此法門經^{ゴトク}。ヒロマリ候ハバ御悦申ベ
 シ。穴賢穴賢兄弟ノ御中。不和ニワタラセ。給フベカラズ。
 不和ニワタラセ給フベカラズ。太夫志^{サカシ}殿ノ御文。委^カク
 キテ候。キコシメスベシ。謹言

弘安二年二月二十一日

日蓮 花押

○日眼女造立釋迦佛供養事

錄内二十八卷二十紙
啓蒙三十三卷初紙

三界ノ主教主釋尊一體三寸ノ木像奉造立之檀那日眼女御供養ノ御布施前ニ貫今一貫云云法華經壽量品云或說己身或說佗身等云云東方ノ善德佛中央ノ大日如來十方ノ諸佛過去ノ七佛三世ノ諸佛上行菩薩等文殊師利舍利弗等大梵天王第六天ノ魔王釋提桓因王日天月天明星天北斗七星二十八宿五星七星八萬四千ノ無量ノ諸星阿脩羅王天神地神王山神海神宅神里神一切世間ノ國主トアル人何レカ教主釋尊ナラガルヤ天

照太神ハ旛大菩薩モ其本地者教主釋尊也例セバ釋尊ハ天ノ一月諸佛菩薩等ハ萬水ニ浮ル影也釋尊一體ヲ造立スル人ハ十方世界ノ諸佛ヲ作り奉ル人也譬ハ頭ヲ振バカミモユルグ心ハタラケバ身動ク大風吹ハ艸木シヅカナラズ大地動ハ大海サハガシ教主釋尊ヲ動シ奉レバユルガ又艸木ヤ有ベキサハガ又水ヤ有ベキ今日眼女三十七ノ危ト云云危ト申ハ譬バサイニハカ廉ド升ニハ角人ニハツギ節方ニハ四維ノ如シ風ハ方ヨリフケバヨハシ角ヨリ吹ハツヨシ病ハ肉ヨリ起レバ治シヤスシ節ヨリ起レバ治シガタシ家ニハ垣無レバ

盜人入ル。人ニハトガアレバ。敵便ヲ受タリ。危ト申ハ節
 節ノ如。家ノ垣ナク。人ニ過アルが如シ。吉兵士ヲ持テ守
 ラスレバ。盜人ヲカラメ。節ノ病ヲ兼テ。治スレバ。命長シ。
 今教主釋尊ヲ造立シ奉レバ。下女が太子ヲ産ルが如シ。
 國王尚此女ヲ敬ヒ給フ。況ヤ大臣已下ヲヤ。大梵天王釋
 提桓因王日月等。此女人ヲ守リ給フ。況ヤ大小ノ神祇ヲ
 ヤ。昔優填大王釋迦佛ヲ造立シ奉シカバ。大梵天王日月
 等。木像ヲ禮シニ參リ給シカバ。木像說テ云ク。自供養我
 可供養優填大王等。云影堅王ノ畫像ノ釋尊ヲ書奉シ
 モ。又又如是法華經云。若人爲佛故建立諸形像。如是諸人

等皆已成佛道。云文ノ心ハ。一切ノ女人釋迦佛ヲ造リ
 奉レバ。現在ニハ日月月ノ大小ノ難ヲ拂ヒ。後生ニハ
 必佛ニ成ベシト申文也。抑女人ハ一代五千七千餘卷ノ
 經ニ佛ニナラズト嫌ハレ御坐スガ。但法華經計ニ女
 人成佛ト說レテ候。天台大師釋云。不記女等。云釋ノ意
 ハ。一切經ニハ女人佛ニナラズト云。次下云。今經皆記
 等。云今ノ經ニシテ女人成佛等。云天台智者大師ト
 申セシ人ハ。佛滅度ノ後一千五百年ニ。漢土ト申國ニ出
 サセ給テ。一切經ヲ十五返マデ御覽アソバシ候ジガ。從
 法華經外ノ經ニハ。女人不成佛等。云妙樂大師ト申人

ノ釋ニ云。一代所絶等云。釋ノ意ハ。一切經ニ絶タル法
門也。法華經ト申ハ。星ノ中ノ月ヅカシ。人ノ中ノ王ヅカ
シ。山ノ中ノ須彌山。水ノ中ノ大海ノ如シ。是程イミジキ
御經ニ。女人佛ニナルト説レヌレバ。一切經ニ嫌ハレタ
ルニ。ク^苦ルシカラズ。譬バ盜人夜打強盜乞食渴體ニ。嫌ハ
レタラント。國ノ大王ニ讚ラレタラント。何レカウ^嬉レシ
カルベキ。日本國ト申ハ。女人ノ國ト申國也。天照太神ト
申セシ。女神ノツキ出シ給シ嶋也。此日本ニハ男ハ十九
億九萬四千八百二十八人。女人ハ二十九億九萬四千八
百三十人也。此男女ハ皆念佛者ニテ候ヅ。皆念佛ナ^ル故

ニ阿彌陀佛ヲ本尊トス。現世ノ祈モ又如是。設釋迦佛ヲ
作り書トモ。阿彌陀佛ノ國ヘ。往ントシテ候中人也。阿彌
陀佛ヲ思搦ニハ思候ハヌヅ。中中造リ書ヌニハ劣リ也。
今ノ目眼女ハ。今生ノ祈ノ様ナレドモ。教主釋尊ヲ造リ
マイラセ給候ヘバ。後生モ疑ナシ。二十九億九萬四千八
百三十人ノ。女人ノ中ノ第一也ト思食スベシ。委ハ亦復
申ベク候恐恐謹言

弘安二年己卯二月日

日蓮 花押

中務三郎左衛門尉殿

○松野殿後家尼御前御返事

錄内三十四卷三十九紙
啓蒙三十四卷百八紙

法華經第五卷安樂行品云。文殊師利此法華經於無量國中乃至名字不可得聞。云此文ノ心ハ我等衆生ノ三界六道ニ輪回セシル事。或ハ生天。或ハ生人。或ハ生地獄。或ハ生餓鬼畜生等。無量ノ國ニ受生。無邊ノ苦樂ニ値シカドモ。一度モ法華經ノ國ニハ不生。適生レタリシカドモ。南無妙法蓮華經ト唱ル事ハ夢ニモナシ。人ノ申ラモ不聞。佛譬ヲ取セ給ニ。一眼ノ龜ノ浮木ノ孔ニ値ガタキニ譬ヘ給ヘリ。心ハ大海ノ中ニ。八萬由旬ノ底ニ。龜ト申大魚アリ。手足モナクヒ尾モナシ。腹ノ熱キ事ハ鐵ヲヤケ

ルガ如シ。背ノ甲ノツメタキ事ハ。雪山ニモ過タリ。此魚ノ晝夜朝暮ノ子ガヒ。時時刻刻ノ口ズサミニハ。アハレ腹ヲヒヤシ。甲ヲアタメメント思キ。赤梅檀ト申木ヲバ聖木ト名ク。人ノ中ノ聖人ノ如シ。餘ノ一切ノ木ヲハ凡木ト申ス。愚人ノ如シ。此梅檀ノ木ハ。此魚ノ腹ヲヒヤス木也。アハレ此木ニ乗テ。腹ヲバ穴ニ入テヒヤシ。甲ヲバ天ノ日ニアテ。アタメバヤト申也。自然ノ理トシテ。三千年ト申ニ。一度ウカブ龜也。而レドモ此木ニ値事難シ。大海ハ廣シ。龜ハ小シ。浮木ハマレ也。縦ニ餘ノ浮木ニハ行合トモ。梅檀ノ浮木ニハアハズ。縦ニ梅檀ニハアアフ

トモ。龜ノ腹ヲ三彫リハメタル様ニ。ガ涯イ分ニ相應シタル。
浮木ノ穴ニ難値。縱ニ穴有トモ廣シテ。我身落入。十バ甲
ヲアタメ難シ。誰カ又取上ベキ。又穴セバクシテ。腹ヲ
オトシ入レズハ。波ニアラヒ落サレ。大海ニシヅミナシ。
縱ニ不思議トシテ。栴檀ノ浮木ノ穴ニ。適行合タレドモ。
我一眼ノヒガメル故ニ。浮木西ニ流ルレバ。東ト見ル故
ニ。急乗ント思テオヨゲバ。彌彌遠ガカル。東ニ流ルヲ西
ト見ル。南北モ亦復如是。浮木ニハ遠ガカレドモ。近ヅク
事ナシ。如是無量無邊劫ニモ。一眼ノ龜ノ浮木ノ穴ニ。ア
ヒ難キ事ヲ佛說給ヘリ。此譬ヲ以テ法華經ニアヒ難ク。

縱ニアフトモ唱へ難キ。題目ノ妙法ノ穴ニ。アヒ難キ事
ヲ心ヲベキ也。大海ト者生死ノ苦海也。龜ヲバ我等衆生
ニ譬へ。手足ノナキヲバ善根ノ我等ガ身ニソナハラガ
ルニ譬へ。腹ノ熱ヲバ我等ガ瞋恚ノハ熱地獄ニ譬へ。背
ノ甲ノ寒キヲバ。貪欲ノハ寒地獄ニ譬へ。三千年大海ノ
底ニ有ヲバ。我等ガ三惡道ニ。墮テ浮ビ難キニ譬へ。三千
年ニ一度浮ヲバ。三惡道ヨリ無量劫ニ。一度人間ニ生レテ。
釋迦佛ノ出世ニ。値ガタキニ譬へ。餘ノ松木檜木ノ浮木
ニハ値ヤスク。栴檀ニ値ガタキヲバ。餘ノ一切經ニハ値
ヤスク。法華經ニハ値ガタキニ譬タリ。縱ニ栴檀ニハ値

トモ。相應シタル穴ニ値ガタキラバ。縦ヒ法華ニハ値ト
モ。肝要タル南無妙法蓮華經ノ。名字ノ唱ニアヒ奉ル事
ノ。カタキニ譬フ。東ヲ西ト見。北ヲ南ト見ル事ハ。我等衆
生カ^賢シコカ^見ホニ。智慧有ル由ヲシテ。勝ヲ劣ト思ヒ。劣ヲ
勝ト思フ。得益ナキ法ヲバ。得益有リトシ。不^レ叶^レ機法ヲバ。
叶ヘリト見。機ニ叶ヘル法ヲバ。叶ハズト云。眞言ハ勝リ。
法華ハ劣リ。念佛ハ機ニ叶ヒ。法華經ハ叶ハズト見。譬
ル也。サレバ思ヤラセ給ベシ。佛月氏國ニ出サセ給テ。一
代聖教ヲ説セ給シニ。四十二年ト申セシニ。始テ法華經
ヲ説セ給フ。八箇年ノ程。一切ノ御弟子^皆如意寶珠ノ如

ナル。法華經ヲ持^ク候^キ。然ドモ日本國ト天竺トハ。二十萬
里ノ。山海ヲ隔テ候シカバ。法華經ノ名字ヲモ聞事無リ
キ。釋迦佛御入滅ナラセ給テ。一千二百餘年ト申セシニ。
漢土ニ渡リ給テ。イマダ日本國ハハ渡ラズ。佛滅後一千
五百餘年ト申ニ。日本國ノ第三十代ノ王。欽明天皇ト申
セシ。御門ノ御時。百濟國ヨリ始テ佛法渡ル。又上宮太子
ト申セシ人。唐土ヨリ始テ佛法渡サセ給テ。其ヨリ以來
于今七百餘年が間。一切經竝ニ法華經ハ。弘ラセ給フ。上
一人ヨリ下萬民ニ至マデ。心アル人ハ。此經ヲ一部。或ハ
一卷一品ヲ持テ。或ハ父母ノ孝養トス。サレバ我モ法華

經ヲ持ト思シカレドモ未ダ口ニハ。南無妙法蓮華經ト
 唱ヘズ。信タルニ似テ。信ゼガルガ如シ。譬バ一眼ノ龜ノ。
 アヒ難キ栴檀ノ。聖木ニハ合タレドモイマダ龜ノ腹ヲ。
 穴ニ入ガルガ如シ。穴ニ入ザレバヨシナシ。須臾ニ大海
 ニ沈ミナシ。我朝七百餘年ノ間。此法華經弘ラセ給テ。或
 ハ讀人。或ハ説人。或ハ供養ズル人。或ハ持人。稻麻竹葦ヨ
 リモ多シ。然ドモイマダ阿彌陀ノ。名號ヲ唱ルガ如ク。南
 無妙法蓮華經ト勸ル人モナク。唱ル人モナシ。一切ノ經
 一切ノ佛ノ。名號ヲ唱ルハ。凡木ニ値ルガ如シ。未タ栴檀
 ナラザレバ。腹ヲヒヤサズ。日天ナラザレバ。甲ヲモアタ

タメズ。但目ヲコヤシ心ヲ悦バシメテ實ナシ。華サキテ
 果ナク。言ノミ有テ。シワガナキガ如シ。但日蓮一人計。日
 本國ニ始テ。是ヲ唱ヘ。マイラスル事去建長五年ノ夏ノ
 比ヨリ。于今二十餘年之間。晝夜朝暮ニ南無妙法蓮華經
 ト。是ヲ唱ル事ハ一人也。念佛等ヲ申人ハ千萬也。予ハ無
 縁ノ者也。念佛ノ方人ハ。有縁也。高貴也。然ドモ師子ノ音
 ニハ。一切ノ獸音ヲ失フ。虎ノ形ニハ犬恐ル。日天東ニ出
 スレバ。萬星ノ光ハ跡形モナシ。法華經ノ無キ所コソ。彌
 陀念佛ハイミジカリシカドモ。南無妙法蓮華經ノ音出
 來テ。師子ト犬トノ吠ルガ如シ。日輪ト星トノ光クラベ

ノ如シ。譬バ鷹ト雉トノ。ヒ等トシカラザルニ似タリ。故ニ
 四衆俱ニソ子ミ。上下同ク惡ム。讒人國ニ充滿シ。奸人土
 ニ多キ故ニ劣ヲ取り勝ヲ惡ム。譬バ犬ヲバマサリ。師子
 ヲバ劣リ。星ヲバマサリ。日輪ヲバ劣ト云ガ如シ。然ル間
 邪見ノ惡名。世上ニ流布シ。ヤ動モスレバ讒奏シ。或ハ罵
 詈セテレ。或ハ刀杖ノ難ヲ蒙リ。或ハ度度流罪ニアタル。
 五卷ノ經文少シモタガハズ。サレバ淚雙眼ニ浮ビ。悅ヒ一
 身ニ餘レリ。爰ニ衣ハ身ヲ隱シガタク。食ハ命ヲ支ヘガ
 タシ。例セバ蘇武ガ胡國ニ有シニ。雪ヲ食シテ命ヲ持チ。
 伯夷ガ首陽山ニ住シ。巖ヲ折テ身ヲタスケシガ如シ。父

母ニアラズンバ誰カ問ベキ。三寶ノ御助ニアラズンバ。
 爭カ一日片時モ存ズベキ。未ダ見參ニモ入ザル人ノ加
 搦ニ度度御音信ノ侍ルハ。何ナル事ニヤ。アヤシクコソ
 候ヘ。法華經ノ第四第八ニハ。釋迦佛凡夫ノ身ニ入替テ。
 法華經ノ行者ヲバ。供養ズベキ由說レテ候。釋迦佛ノ御
 身ニ入セ給歟。又過去ノ善根之催ニヤ。龍女ト申女人ハ。
 我法華經ニテ。佛ニ成テ候ヘバ。末代ニ此御經ヲ持マイ
 ラセン女人ヲ。守ラセ給ベキ由誓セ給シ。其故ニテ候歟。
 貴候貴候

弘安二年己卯三月二十六日 花押

松野殿後家尼御前御返事

○上野殿御返事 録外五卷初紙

抑日蓮種種ノ大難ノ中ニハ。龍口ノ頸ノ座ト。東條ノ難ニハスキズ。其故ハ諸難ノ中ニハ。命ヲ捨ル程ノ大難ハナキ也。或ハ罵リ責メ。或ハ處ヲオ追ハレ。無實ヲ付ケラレ。或ハ面ヲウタレシナドハ。物ノカズナラズ。サレバ色心ノ二法ヨリヲコリテ。ソ誘ラレタル者ハ。日本國ノ中ニハ。日蓮一人也。但シアリ共法華經ノ故ニハアラジ。サテモ忘レザル事ハ。セウ少ハ房ウガ法華經ノ第五卷ヲ取テ。日

蓮ガツラフ。ウ打チシ事ハ。三毒ヨリ起ル處ノ。チ打ヤウチ擲ヤクナリ。天竺ニ嫉妬ノ女人アリ。男ヲニクム故ニ。家内ノ物ヲコトゴトク打ヤブリ。其上ニアマリノ腹立ニヤ。スガタ氣色クシキカワリ。眼ハ日月ノヒカリ光ノゴトクカガヤキ。口ハ炎ヲ吐ガゴトシ。スガタハ青鬼赤鬼ノゴトクニテ。年トシ來男ノヨミ奉ル。法華經ノ第五卷ヲ取リ。兩ノ足ニテサンザンニフミケル。其後命ツキテ地獄ニヲツ。兩ノ足バカリ地獄ニイラズ。獄卒鐵杖ヲモ以テウ打テドモイラズ。是ハ法華經ヲ躡シ逆縁ノ功德ニヨル。日蓮ヲニクム故ニ。セウバウガ第五卷ヲ取テ予ガ面ヲウツ。是逆縁ナルベ

キカ。彼ハ天竺此ハ日本。彼ハ女人是ハヲトコ。彼ハ兩ノ足。是ハ兩ノ手。彼ハ嫉妬ノ故。此ハ法華經ノ御故也。サレトモ法華經ノ第五卷ハヲ同ナジキナリ。彼女人ノ足。地獄ニ入イガラシニ。此兩ノ手無間ニ入ルベキヤ。但シ彼ハ男ヲニ憎クミテ。法華經ヲバニクマズ。是ハ法華經ト。日蓮トヲニクムナレバ。一身無間ニ入ルベシ。經云其人命終入阿鼻獄云。云手計リ無間ニ入マジトハ見エズ。不便ナリ不便ナリ。ツ井ニ日蓮ニアヒテ。佛果ヲウベキ歟。不輕菩薩ノ上慢ノ四衆ノ如シ。夫第五卷ハ。一經第一ノ肝心也。龍女ガ即身成佛アキラカ也。提婆ハコ、ロノ成佛ヲア

ラハシ。龍女ハ身ノ成佛ヲアラハス。下代ニ分絶タル法門也。サテコソ傳教大師ハ。法華經ノ一切經ニ。超過シ勝レタル事ヲ十アツメ給タル中ノ。即身成佛化導勝トハ此事也。此法門ハ天台宗ノ最要ニシテ即身成佛義ト申テ。文句ノ義科也。眞言天台ノ兩宗ノ相論也。龍女ガ成佛モ。法華經ノ功力也。文殊師利菩薩ハ。唯常宣說妙法華經トコソ。カタラセ給。唯常ノ二字ハ。八字ノ中ノ肝要也。菩提心論ノ。唯眞言法中ノ。唯ノ字ト今ノ唯ノ字ト。何レヲ本トスベキヤ。彼ノ唯ノ字ハ。オ恐ソラクハ。ア誤ヤマリ也。無量義經云。四十餘年未顯眞實。法華經云。世尊法久後要當

説眞實多寶佛皆是眞實トテ。法華經ニ限リテ。卽身成佛
アリト。定メ給ヘリ。爾前經ニイカヤウニ。成佛アリトモ。
ト説ケ。權宗ノ人人無量ニ。イヒク^在ルフトモ。只ホ^焙ウ^口ク^烙千
ニ。ツ^越チ一ツナルベシ。法華折伏破權門理トハコレ也。最
モイミジキ。祕奥ナル法門也。又天台ノ學者。慈覺ヨリ已
來^{カマ}。玄文止ノ三大部ノ文ヲ。トカク料簡シ。義理ヲ^構カマフ
トモ。去年ノ曆^{ゴヨミ}昨日ノ食ノ如シ。ケ^今フノ用ニナラズ。末法
ノ始ノ五百年ニ。法華經ノ題目ヲ。ハナレテ成佛アリト
イフ人ハ。佛説ナリトモ。用ユベカラズ。何ニ況ヤ人師ノ
義ヲヤ。爰ニ日蓮思フヤウハ。提婆品ヲ案ズルニ。提婆ハ

釋迦如來ノ昔ノ師也。昔ノ師ハ今ノ弟子也。今ノ弟子ハ
昔ノ師也。古今能所不二ニシテ。法華ノ深意ヲアラハス。
惡ノ達多ニハ。慈悲ノ釋迦如來師トナリ。愚癡ノ龍女ニ
ハ。智慧ノ文殊師トナレリ。文殊釋迦如來ニモ。日蓮劣リ
奉ルベカラザル歟。日本國ノ男ハ。提婆が如ク。女ハ龍女
ニアヒ似タリ。逆順トモニ。成佛ヲ期スベキナリ。是提婆
品ノ意ナリ。次ニ勸持品ノ。八十萬億那由佗ノ菩薩ノ異
口同音ノ。二十行ノ偈ハ。日蓮一人ヨメリ。誰カ出テ日本
國。唐土天竺三國ニシテ。佛滅後ニヨミタル人ヤアル。又
我ヨミタリト。ナノルベキ人ナシ。又アルベシトモ覺ニ

及加^{タウサ}刀杖ノ二字ノ中ニモシ杖ノ字ニアフ人ハアル
ベシ。刀ノ字ニアヒタル人ヲキカズ。不輕菩薩ハ杖木瓦
石^{シヤク}ト見エタレバ杖ノ字ニ遇^{アヒ}ヌ。刀ノ難^{ツギ}ハキカズ。天台妙
樂傳教等ハ。刀杖不加ト見エタレバ。是又カケタリ日蓮
ハ刀杖ノ二字共ニアヒヌ。剩へ刀ノ難ハ前^{サキ}ニ申ガ如ク。
東條ノ松原ト龍口ト也。一度モアフ人ナキ也。日蓮ハ二
度値ヌ。杖ニハ既ニセ^{セウ}少^{バウ}ニツ^面ラヲ打レシカ共第五
卷ヲ以テウツ^{ウツ}打杖^{ウツ}モ第五卷。ウタルベシト云經文モ五
卷。不思議ナル。未來記ノ經文也。サレバセウ^{セウ}バウニ。日蓮
數十人ノ中ニシテ。ウ^ウタレシ時ノ心中ニハ。法華經ノ故

トハ思へ共。イマダ凡夫ナレバ。ウ^{無情}タテカリケル間。ツ^杖エ
ヲモウ^資バヒ。チカラアルナラバ。フ^踏ミヲ折^{ハッ}捨^{ベキ}ベキ。コトゾ
カシ。然レドモ杖ハ。法華經ノ五ノ卷ニテマシマス。今思
ヒ出シタル事アリ。子ヲ思フ故ニヤ。親^ツギノ木ノ弓ヲ
以テ。學文セガリシ子ニ教ヘタ^リ。然^レ間此子ウ^{無情}タテカリ
シハ父^ニ憎^クカリシハツ^梘ギノ木ノ弓。サレドモ終ニハ修
學増進シテ。自身得脱ヲ究^キメ。又人ヲ利益スル身トナリ。
立還テ見レバ。ツギノ木ヲモテ。我ヲウ^打チシ故也。此子ソ^卒
ト^堵ハ婆^ニ。此木ヲツク^リ。父ノ供養ノタメニ。タ^建テ、シケリ
ト見エタリ。日蓮モ又カクノ如ク。アルベキ歟。日蓮佛果

ヲ得ニ。爭カセウバウガ。恩ヲスツベキヤ。何況ヤ法華
經ノ御恩ノ杖ヲマカクノ如ク思ヒツヅケ候ヘハ感涙
ヲサヘ難シ。又涌出品ハ日蓮ガ爲ニハ少シヨシミアル
品也。其故ハ上行菩薩等ノ末法ニ出現シテ。南無妙法蓮
華經ノ五字ヲ弘ムベシト見エタリ。而ニ先日蓮一人出
來ス。六萬恒沙ノ菩薩ヨリ定テ忠賞ヲ蒙ルベシト思ヘ
バ。タノモシキ事也。トニカクニ法華經ニ身ヲマカセ信
ゼサセ給ヘ。殿一人ニ限ルベカラズ。信心ヲ進メ給テ。過
去ノ父母等ヲス救クハセ給ヘ。日蓮生レシ時ヨリ。今ニ一
日片時モ心安キ事ハナシ。此法華經ノ題目ヲ弘メント

思計リ也。相カマヘテ相カマヘテ。自佗生死ハシラ子共。御
臨終ノキガミ。生死ノ中間ニ。日蓮必ス迎ニ。マイリ候ベ
シ。三世ノ諸佛ノ成道ハ。子丑ノヲハリ。ト寅ヲノキガミノ
成道也。佛法ノ住處。鬼門ノ方ニ三國トモニ立ナリ。此等
相承ノ法門ナルベシ。委ハヌ又申ベク候。恐恐謹言

弘安二年己卯四月二十日

日蓮 花押

上野殿御返事

追云ウ飢ヘテ食ヲ子ガヒ。渴シテ水ヲシ慕タフガコト
ク。戀シキ人ヲ見タキガ如ク。病ニク藥スリヲタノム
カ如ク。ミメカタチ好人。ベニシ紅ロ粉イモノヲ。ツ付クル

か如ク。法華經ニハ信心ヲイタサセ給ヘ。サナクシテハ。後悔アルベシ。後悔アルベシ

○新池殿御消息

録内三十六卷八紙
啓蒙三十五卷四十八紙

ハ木三石送給候。一乘妙法蓮華經ノ御寶前ニ備ヘ奉リ。南無妙法蓮華經ト。只一遍唱進ラセ候畢イトラシミノ御子ヲ。靈山淨土ヘ決定シテ。疑ヒ有コト無ク。送り進ラセシガ爲也。抑因果ノコトハリハ。華ト果トノ如シ。千里ノ野ノ枯タル艸ニ。螢火ノ如ナル火ヲ。一ツ付ヌレバ。須臾ニ一艸二艸。十百千萬艸ニツキワタリテモユレバ。十

町二十町ノ艸木。一時ニヤケツキヌ。龍ハ一滄ノ水ヲ。手ニ入テ天ニ昇ヌレバ。三千世界ニ雨ヲフラシ候。小善ナレドモ。法華經ニ供養ジ。マイラセ給ヌレバ。功德此ノ如シ。佛滅度ノ後。一百年ト申セシニ。月氏國ニ阿育大王ト申。王マシマシキ。一閻浮提ハ萬四千ノ國ヲ。四分が一御知行アリキ。龍王ヲシタガヘ。鬼神ヲ召仕ヒ給キ。六萬ノ羅漢ヲ師トシテ。八萬四千ノ石塔ヲ立十萬億ノ金ヲ。佛ニ供養ジ奉ント誓ヒ給キ。カハル大王ニテ。オハセシ。其因位ノ功德ヲ。タツヌレバ。タバ土ノ餅一釋迦佛ニ。供養シ奉シ故ヅカシ。釋迦佛ノ伯父ニ。斛飯王ト申セシ。王御

坐ス。彼王ニ太子アリ。阿那律トナヅク。此太子生レ給シ
時。御器物一出來セリ。彼御器ニ飯アリ。食スレバ又出キ
又出キ。終ニ飯ツクル事無シ。故ニ彼太子ノヲサナ名ヲ
バ。如意トナヅケタリ。法華經ニテ佛ニ成リ給フ。普明如
來是也。此太子ノ因位ヲ尋レバ。飢タル世ニヒエノ飯ヲ。
辟支佛ト申僧ニ。供養セシ故ゾカシ。辟支佛ヲ供養スル。
功德スラ此ノ如シ。況ヤ法華經ノ行者ヲ供養セン功德
ハ。無量無邊ノ佛ヲ供養シ進ラスル功德ニモ。勝タリト
説レテ候也。抑日蓮ハ日本國ノ者也。此國ハ南閻浮提七
千由旬ノ内ニ八萬四千ノ國アリ。十六ハ大國五百ノ中

國。十千ノ小國。無量ノ粟散國アリ。其中ニ月氏國ト申。國
ハ大國也。彼國ニ五天竺アリ。其ヨリ東海ノ中ニ小嶋ア
リ。日本國是也。中天竺ヨリハ。十萬餘里ノ東也。佛教ハ佛
滅後。正法一千年ガ開ハ。天竺ニ留テ餘國ニ渡ラズ。正法
一千年ノ末。像法ニ入テ一十五年ト申セシニ。漢土ハ渡
ル。漢土ニ三百年過テ。百濟國ニ渡ル。百濟國ニ一百年。已
上一千四百年ト申セシニ。人王三十代欽明天皇ノ御代
ニ。日本國ニ始テ。釋迦佛ノ金銅ノ像ト。一切經ハ渡テ候
キ。今七百餘年ニ及候。其間一切經ハ五千餘卷。或ハ七千
餘卷。宗ハ八宗九宗十宗也。國ハ六十六箇國ニノ嶋。神ハ

三千餘社。佛ハ一萬餘寺也。男女ヨリモ僧尼ハ半分ニ及
ベリ。佛法ノ繁昌ハ。漢土ニモ勝レ。天竺ニモマサレリ。但
シ佛法ニ入テ諍論アリ。淨土宗ノ人人ハ。阿彌陀佛ヲ本
尊トシ。眞言ノ人人ハ。大日如來ヲ本尊トス。禪宗ノ人人
ハ。經ト佛トヲ闍テ。達磨ヲ本尊トス。餘ノ人人ハ念佛者。
眞言等ニ隨ヘラレ。何レトモ無ケレドモ。ツヨキニ隨ヒ。
多分ニ押レテ。阿彌陀佛ヲ本尊トセリ。現在ノ主師親タ
ル。釋迦佛ヲ闍テ。佗人タル阿彌陀佛ノ。十萬億佗國ヘ。ニ
ダ行ベキ由ヲ子ガハセ給候。阿彌陀佛ハ親ナラズ。主ナ
ラズ。師ナラズ。サレバ虚言ノ。四十八願ヲ立給タリシヲ。

愚ナル人人實ト思テ物狂ハシク。金拍子ヲタ、キ。オド
リハ子テ念佛ヲ申シ。親ノ國ヲバイトヒ出ス。來迎セン
ト約束セシ。阿彌陀佛ノ約束ノ人ハ來ラズ。中有ノタビ
ノ空ニ迷テ。謗法ノ業ニヒカレテ。三惡道ト申。獄屋ヘオ
モムケバ。獄卒阿防羅刹悦ヲナシ。ト捉テヘカヲメテ。サヒ
ナム事限リナシ。コレヲアラアラ。經文ニ任テ。カタリ申
セバ。日本國ノ男女。四十九億九萬四千八百二十八人マ
シマスガ。某一人ヲ不思議ナル者ニ思テ。餘ノ四十九億
九萬四千八百二十七人ハ。皆敵ト成テ。主師親ノ釋尊ヲ。
モ用チヒヌダニ不思議ナルニ。カヘリテ或ハノリ或ハウ。

チ或ハ處ヲ追ヒ。或ハ讒言シテ。流罪シ死罪ニ。行ハルレ
バ。貧ナル者ハ富ルヲヘツラヒ。賤キ者ハ貴キヲ仰キ。無
勢ハ多勢ニ。シ從タカウ事ナレバ。適タ法華經ヲ信ズル。様ナ
ル人モ。世間ヲハバカリ。人ヲ恐テ。多分ハ地獄へ墮ル
事不便也。但シ日蓮が愚眼ニテヤアルラン。又宿習ニテ
ヤ候ラン。法華經最第一。已今當說難信難解。唯我一人能
爲救護ト說レテ候文ハ。如來ノ金言也。取テ私ノ言ニハ
アラズ。當世ノ人ハ。人師ノ言ヲ。如來ノ金言ト打思ヒ。或
ハ法華經ニ肩カヲ竝テ。齊ヒシト思ヒ。或ハ勝マタリ。或ハ劣マナ
レドモ。機ニカナヘリト思ヘリ。シカルニ如來ノ聖教ニ。

隨佗意隨自意ト申事アリ。譬バ子ノ心ニ。親ノ隨ヲバ隨
佗意ト申。親ノ心ニ子ノ隨ヲバ。隨自意ト申。諸經ハ隨佗
意也。佛衆生ノ心ニ隨ヒ給フ故ニ。法華經ハ隨自意也。一
切衆生ヲ佛心ニ隨ヘタリ。諸經ハ佛說ナレドモ。是ヲ信
ズレバ。衆生ノ心ニテ。永ク佛ニ成ラズ。法華經ハ佛說也。
佛智也佛意也。一字一點モ深ク信ズレバ。我身即佛トナ
ル。譬ハ白紙ヲ墨ニ。染レバ黒クナリ。黒茶ニ白物ヲ入レ
バ白ク成ガ如シ。毒藥變ジテ藥トナリ。衆生變ジテ佛ト
ナル。故ニ妙法ト申ス。然ニ今ノ人ハ。高モ賤モ現在ノ
父タル。釋迦佛ヲバ輕カメテ。佗人ノ縁ナキ阿彌陀。大日等

ヲ重シ奉ル。是不孝ノ失ニ。アラバヤト申ユヘ。日本國ノ
人。一同ニ怨マセ給也。其モコ_理トハリ也。マガレル木ハ。ス
ナヲナル繩ヲニクミ。イ_偽ツハレル者ハ。タ_正ダシキ政ヲバ。
心ニア_合ハズ思也。我朝人王九十一代之間ニ。謀叛ノ人
ハ二十六人也。所謂大山ノ王子。大石ノ山丸。乃至將門惡
左府等也。此等ノ人ハ。吉野ト_津河ノ。山林ニコモリ。筑
紫鎮西ノ海中ニ隱ルレバ。嶋嶋ノエ_夷ゴス。浦浦ノモ_兵ノ
フドモ。ウタントス。然レドモソレハ貴キ聖人。山山寺寺
ノ法師尼女人ハ。イ_甚タダ敵ト思事ナシ。日蓮ハ上下ノ男
女尼法師。貴キ聖人ナンド。云ハル、人一人ハ。殊ニ敵トナ

リ候。其故ハイ_何ヅレモ。後世ヲハ願ヘドモ。男女ヨリハ僧
尼コソ。願フ由ハ。ミエ候ヘ。彼等ハ往生ハ。サテラキヌ。今
生ノ世ヲ。ワタル。ナ_仲カダチトナル故也。智者聖人。又我好
我勝タリト申。本師ノ跡ト申。所領ト名聞利養。重クシテ。
マ_眞メヤカニ。道心ハ輕シ。佛法ハヒカサマニ。心得テ愚癡
ノ人也。謗法ノ人也ト。言ヲモ惜マズ。人ヲモ憚ラズ。當知
是人佛法中怨ノ金言ヲ恐テ。我是世尊使處衆無所畏ト
云文ニ任_テイ_甚タクセムル間。未得謂爲得我慢心充滿ノ
人。爭カニクミ。嫉マガラシヤ。サレバ日蓮程。天神七代地
神五代。人王九十餘代ニ。イマダ此法華經故ニ。三類ノ敵

人ニアガマレタル者ナキ也。カ、ル上下萬人。一同ノニ
クマレ者ニテ候ニ。此マデ御渡リ候シ事。オボロゲノ縁
ニハ。アラズ。宿世ノ父母歟。昔ノ兄弟ニテ。オハシケル故
ニ。思付セ給歟。又過去ニ法華經ノ縁深シテ。今度佛ニ成
セ給ベキ。タ子ノ熟セル歟ノ故ニ。在俗ノ身トシテ。世間
ヒマナキ人ノ公事ノヒマニ。思出サセ給ケルヤラン。其
上遠江國ヨリ。甲州波木井ノ郷。身延山ヘハ。道三百餘里
ニ及ベリ。宿宿ノイブセサ。嶺ニ昇レバ。日月ヲイタバキ。
谷ヘ下レバ。穴ヘ入歟ト覺ニ。河水矢ヲ射ルガ如ク早シ。
大石ナガレテ。人馬ムカヒ難シ。船アヤウクシテ。紙ヲ水

ニヒ浸タセルガ如シ。男ハ山カツ。女ハ山母ノ如シ。道ハ繩
ノ如クホツク。木ハ艸ノ如クシゲシ。カ、ル所ヘ。尋入給
テ候事。何ナル宿習ナルラン。釋迦佛ハ御手ヲ引帝釋ハ
馬トナリ。梵王ハ身ニ隨ヒ。日月ハ眼トナリ。カハラセ給
テ。入セ給ケルニヤ。アリガタシアリガタシ。事多シト申
セドモ。此程風オコリテ。身ノ苦シク候間。雷候畢
弘安二年己卯五月二日 日蓮 花押

新池殿御返事

○窪尼御前御返事 録外二卷四十紙

御供養ノ物數ノマ、ニ慥ニ給候。當時ハ五月ノ比オヒ
ニテ。民ノイトマナシ。其上宮ノ造營ニテ候也。カ、ル暇
ナキ時。山中ノ有撓思ヒヤラセ給テ。送リタビテ候事。御
志殊ニフカシ。阿育大王ト申セシ王ハ。此天ノ日ノ回ラ
セ給。一閻浮提ヲ大體知食タリシ王也。此王ハ昔德勝ト
テ。五ニナル童子ニテ候ヒシガ。釋迦佛ニ沙ノ餅ヲ進ラ
セタリシガ故ニ。カ、ル大王ト生レサセ給フ。此童ハサ
シモ志シナク。戲レナル撓ニテ。コソ候ヒシカドモ。佛ノ
目出度オハスレバ。纔ノ事モ物ト成テ。カ、ルメデタキ
事候マシテ法華經ハ。佛ニ勝ラセ給事。星ト月ト燈ト日

トノ如シ。又御志シモ勝レテ候。サレバ故入道殿モ。佛ニ
成セ給フベシ。又一人オハスル姫御前モ。命長ク幸モ有
テ。サル人ノ娘也ト。聞エサセ給ベシ。當時モ幼ケレドモ。
母ヲカクテスゴス女人ナレバ。父ノ後世ヲモ助クベシ。
唐土ニ西施ト申セシ女人ハ。菁ヲ摘ミテ老タル。母ヲ養
シカバ。天哀ミ給テ越王ト申大王ノ符セサセ給シガ。見
付テ后トサダメ給。是モ亦カクノ如ク。親ヲ養フ女人ナレ
バ。天モ守給佛モ御哀ミ候ラン。一切ノ善根ノ中ニハ。孝
養父母第一ニテ候ナレバ。マシテ法華經ノ。行者ニテ御
坐マス。金ノ器ニ淨水ヲ入タルが如ク。少モ漏ベカラズ

候。目出タシ目出タシ。恐恐謹言

五月四日

日蓮花押

窪持妙尼御前御返事

○寶輕法重事

錄内二十七卷三十九紙
啓蒙三十二卷九十二紙

筍百二十本。小角豆。芋一駄送給候畢妙法蓮華經第七云。若復有人以七寶滿三千大千世界供養於佛及大菩薩辟支佛阿羅漢。是人所得功德。不如受持此法華經。乃至一四句偈。其福最多。云文句十云。七寶奉四聖。不如持一偈。法。是聖師能生。能養能成。能榮莫過於法。故人輕法重也。記

十云。如父母必以四護護子。今發心由法為生。始終隨逐為養。今滿極果為成。能應法界為榮。雖四不同。以法為本文。經竝天台妙樂之心者。一切衆生ヲ供養ゼント。阿羅漢ヲ供養ゼント。乃至一切之佛ヲ盡。七寶三千大千世界ニ盛滿テ。供養ゼンヨリハ。法華經ヲ一偈。或ハ受持シ。或ハ護持モンハ。勝タリト云。云經云。不如受持此法華經。乃至一四句偈。其福最多。文天台云。人輕法重也。妙樂云。雖四不同。以法為本文。九界之一切衆生ヲ佛ニ相對シテ。此ヲ計ルニ。一切衆生ノ福ハ。一毛ノ輕ガ如シ。佛ノ福ハ。大山ノ重カ如シ。一切ノ佛ノ御福ハ。梵天三銖ノ衣ノ輕ガ如ク。法華

經ノ一字ノ福ノ重キ事ハ。大地ノ重ガ如シ。人ハ輕ト申
ハ。佛ヲ人ト申法ハ重ト申ハ法華經也。夫法華經已前ノ
諸經。竝ニ諸論師佛ノ功德ヲ讚テ候事子ノ如シ。此法華
經ハ。經ノ功德ヲ讚タリ。佛ノ父母ノ如シ。華嚴經大日經
等ノ法華經ニ劣レル事。一毛ト大山ト。三銖ト大地トノ
如シ。乃至法華經ノ最下ノ行者ト。華嚴眞言ノ最上ノ行
者ト比ブルニ。帝釋ト獼猴ト。師子ト兔トノ勝劣也。而
民ガ王トノ、シレバ。必命ヲ失ハル。諸經ノ行者ガ。法華
經ノ行者ニ勝タリト申セバ。必國モ亡ビ。地獄ニモ入也。
但シ敵無時ハ。偽リ愚ニテ候。譬ハ將門貞任モ。貞盛賴義

ガ無リシ時ハ。國ヲ知行シ。妻子モ安穩也ト云。敵無時
ハ露モ空へ上リ雨モ地ニ下ヌ。逆風ハ烈シキ時ハ。雨モ
返テ空へ上リ。日出ル時ハ露モ地ニ落ヌ。爾者華嚴等ノ
六宗ハ。傳教ノ無リシ時ハ露ノ如シ。眞言モ亦然也。強敵
出現シテ。法華經ヲ以テ強ク責ルナラバ。叡山ノ座主東
寺御室等モ。日輪ニ露ノ合ルガ。如シト可思食法華經ハ
佛滅後。二千二百餘年ニイマダ經ノ如ク。說極テ弘ル人
無之。天台傳教等モ非不知食時モ不來機モ無リシカバ。
事極メツクサスシテ。終ラセ給ヘリ。日蓮ガ弟子ト成シ
人ハ易ク可知之。一閻浮提ノ内ニ。法華經ノ壽量品ノ。

釋迦佛ノ形ヲ書作レル堂イマダ候ハズ。爭カ顯レサセ
給ベキ。繁ケレバ止メ候筈百廿本法華經者。二千餘年ニ
顯レ候。又布施ハ輕ケレドモ。志ハ重キ故也。當時ハ勸農
ト申太宮作リト申旁民ノイトマナキニ。御志深ケレバ。
法モ顯候ニヤ

五月十一日

日蓮花押

西山殿御報

○四菩薩造立鈔

錄外十五卷三十三紙

白小袖一。薄墨深衣一。同色袈裟一帖。爲自一貫文給候。不

始于今御志言ヲ以テ宣カタシ。何日ヲ期シテカ遂對面
心中ノ朦朧ヲ申披哉

一 御狀云本門久成ノ。教主釋尊奉造脇士ニハ久成地
涌ノ。四菩薩ヲ造立シ奉ルベシト。兼テ聽聞仕候キ。然レ
ハ如聽聞者。何ノ時乎。云夫佛世ヲ去セ給テ。二千餘年
ニ成ス。其間月氏漢土日本國。一閻浮提ノ内ニ。佛法ノ流
布スル事。僧ハ稻麻ノゴトク。法ハ竹葦ノ如シ。然ルニイ
マダ本門ノ教主釋尊。竝ニ本化ノ菩薩ヲ。造リ奉リタル
寺ハ一處モ無之。三朝ノ間ニ未聞。日本國ニ數萬ノ寺。寺
ヲ。建立モシ人々モ。本門ノ教主脇士ヲ。造ルベキ事。不知

上宮太子佛法最初ノ寺ト號シテ。四天王寺ヲ造立セシ
カドモ。阿彌陀佛ヲ本尊トシテ。脇士ニハ觀音等。四天王
ヲ造リ副タリ。傳教大師延曆寺ヲ立給ニ。中堂ニハ東方
ノ鷲王ノ相貌ヲ造テ本尊トシテ。久成ノ教主。脇士ヲハ
建立シ給ハズ。南京七太寺ノ中ニモ。此事未聞。甲舎ノ寺
以テ爾也。旁不審ナリシ間。法華經ノ文ヲ拜見シ奉レバ。
其旨顯然也。末法鬪諍堅固ノ時ニ至ラズンバ。造ルベカ
ラザル旨分明也。正像ニ出世セシ。論師人師ノ造ラザリ
シハ。佛ノ禁ヲ重ズル故也。若正法像法ノ中ニ。久成ノ教
主釋尊。竝脇士ヲ造ルナラバ。夜中ニ日輪出。日中ニ月輪

ノ出タルガ。如クナルベシ。末法ニ入テ始ノ五百年ニ。上
行菩薩ノ出サセ給テ。造リ給ベキ故ニ。正法像法ノ。四依
ノ論師人師ハ。言ニモ出サセ給ハズ。龍樹天親コソ知セ
給タリシカドモ。口ヨリ外へ出サセ給ハズ。天台智者太
師モ知セ給タリシカドモ。迹化ノ菩薩ノ一分ナレバ。一
端ハ仰出サセ給タリシカドモ。其モ實義ヲハ宣出サセ
給ハズ。但子ザメノ枕ニ時鳥ノ一音ヲ聞シガ。夢ノ如ク
ニシテサテ止タルヤウニシ給候ヌ。夫ヨリ已外ノ人師
ハ。増テ一言ヲモ仰出シ給事ナシ。此等ノ論師人師ハ。靈
山ニシテ迹化ノ衆ナレバ。末法ニ入ザラシニ。正像二千

年ノ論師入師。本門久成ノ教主釋尊。竝久成ノ脇士。地涌、
 上行等ノ四菩薩ヲ。影ホドモ申出スベカラズト。御禁ア
 リシ故ゾカシ。今末法ニ入レバ。尤佛金言ノ如キハ。造ル
 ベキ時ナレバ。本佛本脇士造リ奉ルベキ時也。當時ハ其
 時ニ相當レバ。地涌ノ菩薩ヤガテ。出サセ給ハンズラン。
 先其程四菩薩ヲ。建立シ奉ルベシ。尤今ハ然ルベキ時也
 云云サレバ。天台大師ハ。後五百歲遠沾妙道トシタヒ。傳
 教大師ハ。正像稍過已末法太有近法華一乘機。今正是其
 時ト戀サセ給。日蓮ハ世間ニハ。日本第一ノ貧者ナレド
 モ。以佛法論スレバ。一閻浮提第一ノ富者也。是時ノ然ラ

シムル故也ト思ハハ。喜ビ身ニアマリ。感涙難押。教主釋
 尊ノ御恩報シ奉リ難シ。恐クハ付法藏ノ一人モ。日蓮ニ
 ハ果報ハ劣ラセ給タリ。天台智者大師傳教大師等モ。及
 給ベカラズ。最四菩薩ヲ建立スベキ時也。問云可造立四
 菩薩證文有之耶。答涌出品云有。四導師一名上行二名無
 邊行三名淨行四名安立行等云云。問云後五百歲ニ限ル
 トイヘル。經文有之耶。答云藥主品云我滅度後。五百歲
 中廣宣流布於閻浮提。無令斷絕等云云。
 一御狀云大田方ノ一人。一同ニ迹門ニ得道アルベカ
 ラズト申サレ候。由其聞候。是ハ以ノ外ノ謬也。御得意候

へ。本迹二門ノ淺深勝劣。與奘傍正ハ。時ト機トニ依ビシ。
一代聖教ヲ弘ムベキ時ニ三アリ。機モテ爾也。佛滅後正
法ノ始ノ五百年ハ。一向小乘。後ノ五百年ハ。權大乘。像法
一千年ハ。法華經ノ迹門等也。末法ノ始ニハ。一向ニ本門
也。一向ニ本門ノ時ナレバトテ。迹門ヲ捨ビキニアラズ。
於法華經一部。前十四品ヲ捨ビキ經文無之。本迹ノ所判
ハ。一代聖教ヲ三重ニ配當スル時。爾前迹門ハ。正法像法。
或ハ末法ハ。本門ノ弘ラセ給ベキ時也。今ノ時ハ。正ニハ
本門。傍ニハ迹門也。迹門無得道ト云テ。迹門ヲ捨テ。一向
本門ニ心ヲ入サセ給人人ハ。イマダ日蓮ガ本意ノ法門

ヲ習ハセ給ハガルニコソ。以ノ外ノ僻見也。私ナラザル
法門ヲ。僻案セン人ハ。偏ニ天魔波旬ノ其身ニ入替テ。人
ヲシテ自身トモニ。無間大城ニ墮ベキニテ候。ツタナシ
ツタナシ。此法門ハ年來貴邊ニ申合タル様ニ。人人ニモ
披露アルベキ者也。總ジテ日蓮ガ弟子ト云テ。法華經ヲ
修行ゼン人人ハ。日蓮ガ如クニシ候ヘ。サダニモ候ハバ。
釋迦多寶十方ノ分身。十羅刹モ御守候ベシ。其サハ尚人
人ノ御心中ハ量リカタシ

一日行房死去ノ事不使ニ候。是ニテ法華經ノ文讀進
ラセテ。南無妙法蓮華經ト唱へ進セ。願ハ日行ヲ。釋迦多

寶十方諸佛。靈山へ迎取マダ。給へト申上アゲ候マ。身ノ所勞マダイ快。マダ然。キラキ然ラシカラズ候間。今シテ省略シテ候マ。又又可申候マ。恐恐
謹言

弘安二年五月十七日

日蓮 花押

富木殿御返事

○松野殿女房御返事

録外九卷八紙

麥一箱。イエノイ等モ一籠。ウムリ一籠等カク旁ノ物。六月三日ニ
給候マシマ。今マデ御返事。申候ハザリシ事恐入候。此身延
ノ澤ト申處ハ。甲斐國飯井野御牧波木井三箇郷ノ内波

木井ノ郷。戌亥ノ隅ニアタリ候。北ニハ身延嶽天ヲ頂キ。
南ニハ鷹取が嶽雲ニツヅキ。東ニハ天子ノ嶽。日トタケ
同シ。西ニハ又峨峨トシテ。大山ツヅキテ。シ白ラ子根ノ嶽ニ
ワタレリ。猿ノナク音天ニ響キ。蟬ノサエヅリ地ニ満リ。
天竺ノ靈山此處ニ來レリ。唐土ノ天台山親マシリ是ヲ見ル。
我が身ハ釋迦佛ニアラズ。天台大師ニテハナシ。然レド
モ晝夜ニ法華經ヲヨミ。朝暮摩訶止觀ヲ談ズレバ。靈山
淨土ニモ相似タリ。天台山ニモ異ナラズ。但有待ノ依身
ナレバ。著ザレバ風身ニシミ。食サレバ命持タガタシ。燈ニ
油ヲツガズ。火ニ薪タヲ加ヘザルが如シ。命イカデカツグ

ベキヤラン。命續ツクガタク。ツクベキカ絶テハ。或ハ一日乃
 至五日。既ニ法華經讀誦ノ。音モ絶スベシ。止觀ノマドノ
 前ニハ。艸シゲリナン。カクノ如ク候ニ。イカニシテ思寄ヲ
 セ給ヌラン。免ツク經行者ヲ供養ゼシカバ。天帝ミ哀ミヲナシテ。
 月ノ中ニヲカセ給ヌ。今天ヲ仰見ルニ。月ノ中ニ免アリ。
 サレバ女人ノ御身トシテ。カ、ル濁世末代ニ。法華經ヲ
 供養ジマシマセバ。梵主モ天眼ヲ以テ御覽ジ。帝釋ハ掌
 ヲ合セテ。オガマセ給ヒ。地神御足ヲ。イタダキテ喜ビ。釋
 迦佛ハ靈山ヨリ。御手ヲノベテ。御頂イタキヲナデサセ給ラン。
 南無妙法蓮華經南無妙法蓮華經恐恐謹言

弘安二年己卯六月二十日 日蓮 花押

松野殿女房御返事

○上野殿御返事

録内三十五卷三十八紙
啓蒙三十五卷三十四紙

鷺目モク一貫。鹽一駄。ワラビ。蹲イカシ一俵。ハジカミ少少。使者ヲ
 以テ送り給畢。アツキニハ水ヲ財トス。サムキニハ火ヲ
 財トス。飢渴ニハ米ヲ財トス。武士ハ兵杖ヲ財トス。海ニ
 ハ船ヲ財トス。山ニハ馬ヲ財トス。武藏下總ニハ石ヲ財
 トス。此山ニハ家ノイモ。海ノシホヲ財トシ候ゾ。竹ノ子
 木ノ子等候ヘドモ。鹽ナケレバ其味ニ地土ノ如シ。又金

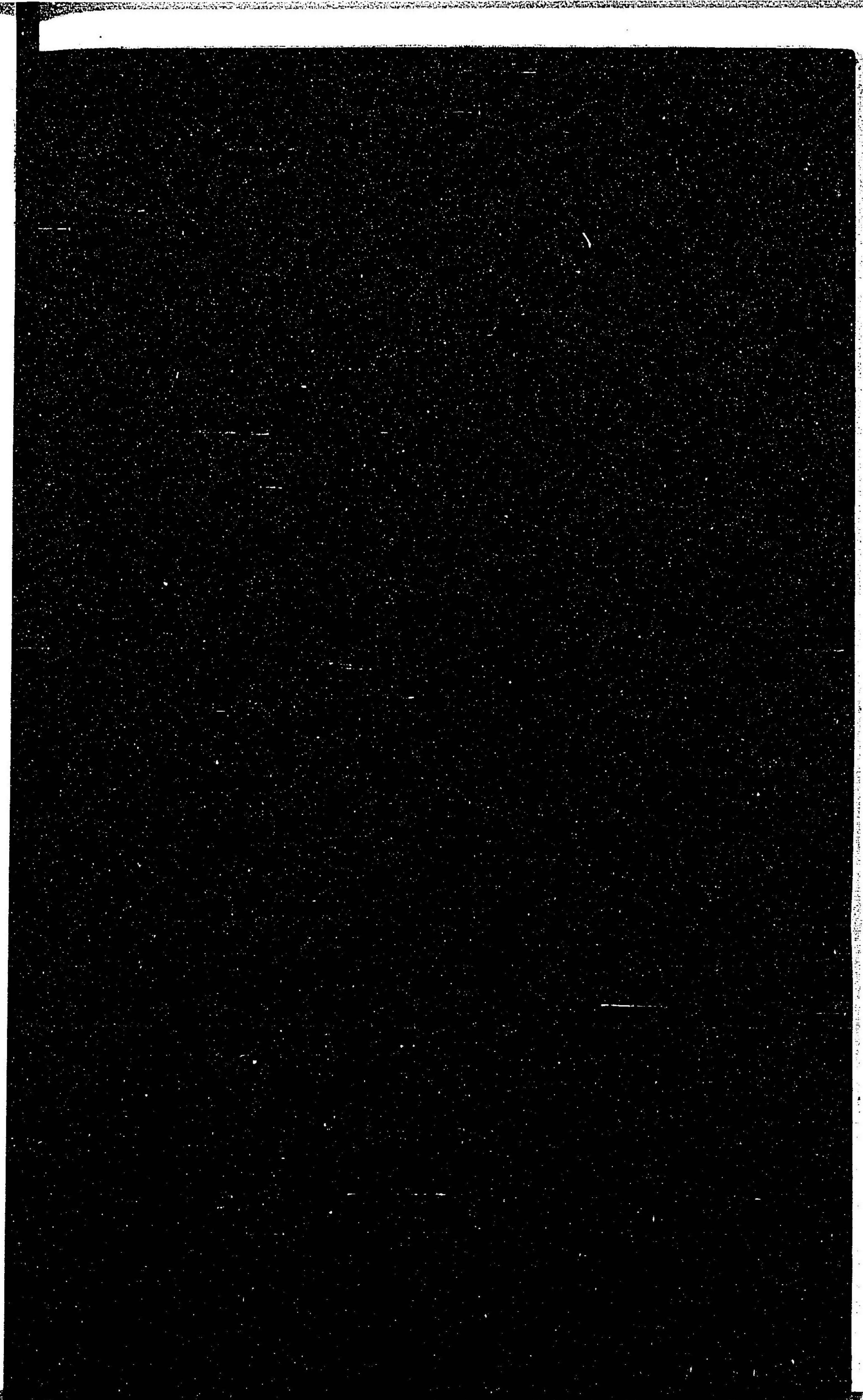
ト申物ハ國王モ財トシ。民モ財トス。譬バ米ノ一切衆生
ノ命ナルガ如ク也。錢又此ノ如シ。漢土ニ銅山ト申山ア
リ。彼山ヨリ出テ候錢ナレバ。一文モ皆三千里ノ海ヲワ
タリテ來ル物。萬人皆玉ト思ヘリ。此ヲ法華經ニ進サセ
給釋摩男ト申セシ人ノ掌ニハ。石變ジテ珠トナリ。金粟
王ハ沙ヲ金トナセリ。法華經ハ艸木ヲモ佛トナシ給。況
ヤ心アラシ人ヲヤ。法華經ハ燒種ノ二乘ヲモ佛トナシ
給。況ヤ生種ノ人ヲヤ。法華經ハ一闍提ヲ佛トナシ給。況
ヤ信ズル者ヲヤ。事事難盡候也。又又申ベシ。恐恐謹言

弘安二年八月八日

日蓮 花押

上野殿御返事

高祖遺文錄卷之二十六



145
30
35

館書圖京東

三〇冊	三號	三八架	三九函	和書門
-----	----	-----	-----	-----

尚祖遺文錄

卷之三